

平成29年12月13日

平成29年度 第3回吉野川現地（フィールド）講座  
「海浜植物観察会」を吉野川河口干潟で開催します！

徳島河川国道事務所は、1月20日（土）に今年度第3回目の吉野川現地（フィールド）講座「干潟の海浜植物を観察しよう！」を吉野川河口において開催します。

吉野川の河口干潟には、従来から在来種のハマゴウやコウボウムギといった海浜植物が生息していますが、ここ数年、特定外来生物であるナルトサワギク（植物）の大量繁殖により、生息地が脅かされている状況でした。しかしながら、毎年、地域のみなさんの協力を得て、抜き取りによるナルトサワギクの駆除作業を行った結果、近年、吉野川河口干潟のナルトサワギクは減少傾向となっています。

今回は、河口干潟に生息する海浜植物を観察していただくとともに、外来生物の生育状況についても確認していただき、吉野川の環境の現状について知っていただく現地講座を行うものです。

この「吉野川現地（フィールド）講座」は、吉野川のことを深く知っていただくことを目的に、観察会や歴史探訪等を年3回程度行っているものです。

**【開催概要】**

**開催日時**：平成30年1月20日（土） 9時00分～11時30分  
（受付8時30分～9時00分）

**集合場所**：徳島市上助任町地先 吉野川新町係船場

**観察場所**：吉野川河口干潟（阿波しらさぎ大橋下流）

**準備物**：動きやすい服装（濡れても大丈夫なレインコート等）、長靴、帽子、飲み物等

**【応募】**

**募集定員**：20名程度とし、定員を大幅に超えた場合は、抽選とさせていただきます場合がありますので、ご了承ください。

**募集期間**：平成30年1月11日（木）まで ※必着とします。

**応募方法**：別紙「応募について」を参考にしてください。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】に該当します。

**【問い合わせ先】**

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所  
TEL 088-654-2211（代表） 088-654-9175（直通）  
副所長（地域） 西山 修（内線206）  
◎地域連携課長 松坂 幸二（内線381）

◎主たる問い合わせ先

## ■応募について

- 「第3回吉野川現地（フィールド）講座」の案内チラシを徳島河川国道事務所ホームページ（<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>）からダウンロードいただくか、徳島河川国道事務所 地域連携課（TEL:088-654-9175）までお問い合わせください。
- 案内チラシ内の応募用紙に必要事項をご記入の上、FAX、郵送等で期限までにご応募ください。
- はがき、E-mailでもご応募いただけます。その場合は、必要事項（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（連絡のとれる番号））をご記入の上、下記の応募先までご応募ください。なお、応募先は「案内チラシ」の一番最後にも記載しています。

### 【応募先】

〒770-8554

徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課

「吉野川現地（フィールド）講座」係

E-mail : skr-tokusa63@mlit.go.jp

F A X : 088-654-9177

- 悪天候時は中止する場合があります。中止の場合、事前にご連絡いたします。
- 集合場所には各自でお越しください。

## 【参考】

### ■外来種駆除の取り組みについて

○吉野川の河口干潟では、ここ数年、特定外来生物のナルトサワギク（植物）が大量に繁殖しており、このままでは在来種であるハマゴウやコウボウムギといった海浜植物の生息地が減少することから、平成21年度より抜き取りによるナルトサワギクの駆除作業を行う現地（フィールド）講座を開催し、外来種駆除の重要性を学んでいただく取り組みを実施しております。

○昨年度は22名の参加のもと、約2,400㎡の範囲のナルトサワギクを除去しました。

○徳島河川国道事務所では、「よりよい吉野川づくり」を目指した取り組みの一環として、流域の皆さんと情報の共有を図るため、平成14年度より現地において川の調査や河川管理施設などについて紹介する講座を実施しています。

### ■ナルトサワギクについて

○ナルトサワギクは、1976年に鳴門市瀬戸町で見つかった帰化植物で、花の特徴からサワギク属の一種であることがわかり、ナルトサワギクと名付けられました。  
その後（約20年後）、学名 *Senecio madagascariensis* という、原産地がマダガスカル産のものということがわかりました。

○背丈は30～70cmで、枝を張って伸び、背丈の低い時期から一年中花を咲かせています。  
花の大きさは、2～2.5cmで鮮やかな黄色をしています。葉の形はいろいろで、ふちにぎざぎざがあるものが多く、日当たりのよいところで大きく広がって生えます。よく生えるのは海辺の荒れ地や河原などです。

○特定外来生物に指定されています。特定外来生物とは外来種の中でも特に、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれのあるもので、外来生物法で指定されている種です。

平成29年度 第3回 吉野川現地(フィールド)講座のご案内

# 吉野川河口干潟の海浜植物を観察しよう！

吉野川の河口干潟にはたくさんの生物がすんでおり、在来種のハマゴウやコウボウムギなどの海浜植物も従来から生息していますが、ここ数年、特定外来生物であるナルトサワギク(植物)の大量繁殖により、生息地が脅かされている状況でした。しかしながら、毎年、地域のみなさんの協力を得て、抜き取りによるナルトサワギクの駆除作業を行った結果、近年、吉野川河口干潟のナルトサワギクは減少傾向となっています。

今回は、河口干潟に生息する海浜植物を観察していただくとともに、外来生物の生育状況についても確認していただき、吉野川の河川環境の現状について知っていただく吉野川現地(フィールド)講座を開催します。



吉野川河口干潟の状況



ハマゴウ(吉野川河口干潟)



コウボウムギ(吉野川河口干潟)

## 開催日時など

日 時：平成30年1月20日(土) 9時00分~11時30分(悪天候の場合は中止することがあります)

集合場所：徳島市上助任町地先 吉野川新町係船場

観察場所：吉野川河口干潟(阿波しらさぎ大橋下流)

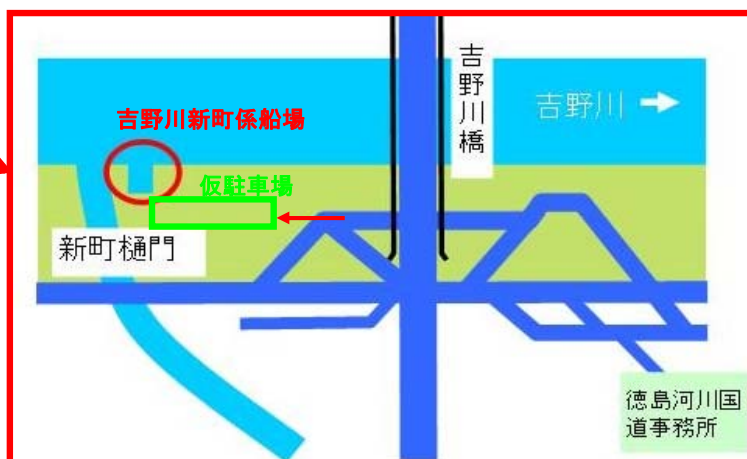
準備物：動きやすい服装(濡れても大丈夫なレインコート等)、長靴、帽子、飲み物等

※集合場所から吉野川河口干潟までは船により送迎を行います。

※船から吉野川河口干潟に下りる際、船着き場等がありませんので濡れる可能性があります。濡れても大丈夫な格好でお越し下さい。

募集定員：20名程度(20名を大幅に超える場合は抽選とさせていただきます)

募集期間：平成30年1月11日(木)まで ※必着とします



## フィールド講座とは

「吉野川に住む生き物は？」「あの施設はなあに？」「吉野川の管理はどのようにしているの？」などについて、皆さんと一緒に吉野川に出かけ川の調査や施設などについて説明などを行っています。

## 利用方法

### 1. 募集

新聞、チラシ、ホームページより参加者の募集を行います。



### 2. 徳島河川国道事務所に申込み

「吉野川現地（フィールド）講座」 申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メールまたはハガキで申込みください。



### 3. 参加者の確定

講座毎の定員に対し、参加者を「抽選」で決定し、申込者にハガキでご連絡いたします。



### 4. 講座の実施

現地（フィールド）でテーマについて講座を実施します。

## 第3回 吉野川現地（フィールド）講座

「吉野川河口干潟の海浜植物を観察しよう！」 申込書（FAX、郵送用）

1. 住所	〒
	( ) ( )
2. 氏名（年齢）※参加者全員	( ) ( )
3. 電話番号	自宅 中止時等の連絡先
4. この講座へのご質問などがありましたらご記入ください	

- ①ハガキ、E-mailの場合は必要事項【郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（自宅・中止時等の連絡先）、講座名】をご記入の上、下記までご応募ください。
- ②集合場所までは、各自でお越しください。
- ③応募者が少数の場合、中止させていただく場合があります。
- ④開催時における事故等については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤応募者が多数の場合は抽選にさせていただく場合があります。

<送り先・お問合せ先>

〒770-8554

徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課

「吉野川現地（フィールド）講座」係

webアドレス <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

電話：088-654-9175（直通）、088-654-2211（代表）

FAX：088-654-9177

E-mail：skr-tokusa63@mlit.go.jp（←すべて半角小文字）

